



「生団連ニュースレター」は、国民の生活・生命を守るという使命を追求する生団連の取り組みに関する最新情報を、日頃ご支援いただいている皆様にお伝えしています。

平成25年11月号
国民生活産業・消費者団体連合会

《消費者庁》“食を取り巻くステークホルダー”による食品ロス削減に向けた意見交換会

このたび、消費者庁において「食品ロス削減に関する意見交換会」が設置され、10月28日に第1回目が開催されました。

この意見交換会は、消費者庁が行ってきた食品ロス削減に関する消費者向けの情報提供や啓発をさらに進めるため、消費者に対する効果的な普及啓発方策等について検討することを目的としています。

委員は、消費者に身近なところで活動する方を中心に、学識経験者、消費者団体、食品の製造・流通・小売関係者及び報道関係者によって構成されています。当連合会の食品廃棄対策委員会にも参加している、財団法人消費科学センターの吉澤様も委員として参加されております。

消費者庁とは定期的に情報交換を行っておりますので、今後もこの意見交換会の内容含め、引き続き

情報交換を行い、協調して食品廃棄削減に向け取り組みを進めてまいります。



第1回目の今回は、様々な角度から意見が出ていましたので一部紹介します。

【消費期限・賞味期限について】

- 消費期限・賞味期限があることについては、十分理解しているが、その内容について理解されていないことが廃棄の原因ではないか。「廃棄期限」という捉え方がされていないか。
- 賞味期限がどういう基準で誰が決めているのか、十分に消費者に知らせる必要がある。
- 賞味期限の言葉自体を「美味しく食べられる期限」とするなど、表現方法の工夫もあっていいのではないか。
- 賞味期限や消費期限の記載のない野菜や果物なども家庭において多く廃棄されているので、ここについても、どの程度大丈夫かなどの目安が示せるといいのではないか。
- 小売の立場からは、「賞味期限を数日過ぎてても、五感で判断して食べてください」とは言いたいけれども言えない。

【食品の持ち帰り(ドギーバックについて)】

- 飲食店での持ち帰りについて、保健所の許可がないとできないなど課題がある。
- 持ち帰りをした際に、消費者の自己責任といっても何か問題があった場合は飲食店の責任となってしまう。
- 外国ではドギーバックは当たり前だが、日本は衛生面についてシビア。

【その他のご意見】

- 根本には、腐敗についての知識がないことなど、消費者の知識レベルを上げることが重要。
- 買う時以外に、捨てる時にもお金がかかっていることを伝えるべき。
- 家庭からのごみは減少傾向にあるが、加工する食品メーカーなどにゴミの出所が移っているだけ。そういった消費者の目には見えない、川上の食品ロスについても知るべきだろう。

○ 生団連の活動の詳細につきましては、年4回の『生団連会報』および生団連のホームページに掲載されています。

生団連は清水信次会長(株)ライフコーポレーション会長の発案で設立、「国民の生活・生命を守る」ことを使命とする団体です。会員は500超の企業、業界団体、消費者団体から構成され、日本の直面する諸課題解決に向け生活者視点で取り組んでいます。

【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会 清水(栄)／宮田 ☎:03-3662-5240 ✉:jimu@seidanren.jp
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル7階 URL: <http://www.seidanren.jp/>

■定例勉強会開催 ～「国会改革について」衆議院議員 小沢鋭仁先生～

10月8日、憲政記念館にて国際経済研究所との共催で定例勉強会を開催しました。今回は講師に小沢鋭仁先生(衆議院議員、元環境大臣、日本維新の会国会対策委員長)をお招きし、「国会改革について」と題して約1時間のご講演をいただきました。

小沢鋭仁先生は平成5年に山梨県より衆議院議員初当選。以後、日本新党政策委員長や民主党副幹事長、国会対策委員長代理など党の要職を歴任され、平成21年には環境大臣を務められましたのは、



衆議院議員 日本維新の会 国会対策委員長 小沢鋭仁先生

皆様ご存じの通りかと思えます。その後、平成24年より日本維新の会 国会対策委員長に就任され、現在その辣腕を振るわれています。

ご講演では日本維新の会の国会対策方針や、国会改革の推進についてご自身のお考えを述べられました。途中法律案の骨子を示しながら、身振り手振りも交えて熱くお話しされる様子は、さすが「政界きっての政策通」の面目躍如たるご講演でした。また、質疑応答ではご出席の皆様から鋭い質問が多く寄せられ、大変率直かつ活発な意見交換が行われました。

生団連ならびに国際経済研究所では、引き続き有意義な勉強会を開催してまいりたいと思っておりますので、今後とも皆様のご参加をお待ちしております。

<会員の皆様へ>

11月度 定例勉強会のお知らせ

日時: 11月26日(火) 15:30～

場所: 憲政記念館

講師: 前原誠司 先生(衆議院議員)

演題: 「何故、日米関係が重要なのか」

会費: 3,000円

■PACK SHOW 2013で高齢者疑似体験

10月1日～3日に東京都立産業貿易センター浜松町館で行われた「パッケージの展示会「PACK SHOW 2013」を事務局が訪問いたしました。

会場では包装の役割や重要性を解説するコーナー、食品・飲料・医薬品・容器の最新技術を紹介するコーナーなど、商品パッケージについての様々な情報が紹介されていました。

今回、事務局でご紹介させていただくのは、高齢者の日常生活を疑似体験できるコーナーです。PACK SHOW 2013では「手袋による指の感覚の変化」「専用ゴーグルによる白内障や視野狭窄」を体験することができました。

普段は問題なく開けられるハムのパッケージもすぐに開けられず悪戦苦闘し、周りの景色の見えにくさに強いストレスを感じました。加齢による日常生活の変化を実際に体験することで、高齢者の心身状態をより深く理解することができ、実際に体験することで得られる価値の大きさも再確認いたしました。

生団連では、生活者の身近なことから暮らしを少しでも良くするため、生活者目線で考え、課題解決していく手段を探していきたいと考えます。

何気なく見えた風景も・・・



高齢者に多い白内障だとこんな風に！
(疑似体験ゴーグルを通して撮影したイメージです)

